

「希望の歌が眠る場所」 ワークショップ参加者募集



やとみまたはち作「希望の歌が眠る場所」をモチーフにしたワークショップ。現代の高校生が、80年前の終戦間際にタイムスリップし、特攻隊員や女学生たちと触れ合うことで、戦争とは何かを考える物語。ワークショップではやとみまたはち氏をはじめとしたプロの指導を受けながらテーマソング「希望の歌が眠る場所」の歌唱に加え、当時の歌をモチーフにしたダンス、そして芝居のダイジェスト版などを通して、平和について改めて考えます。演技未経験の方でもご参加いただけます。「希望の歌が眠る場所」の本編は劇団アルクシアター公演として11月に上演します。

日程

練習

8月10日（オリエンテーション）

8月31日・9月7,21,28日・10月12日

全て日曜日・13時～16時

ミニ発表会

10月13日（月・祝）ナディアパークアトリウム

※参加できない日程がある場合は事前にご相談ください。

発表会を目指すため原則、全日参加してください。



対象

小学校5年生～29歳以下

フレンズ割って？

2人以上で申し込むとお得。
部活の友達や先輩を誘って
申し込もう◎

参加料

全回数分 3,800円 フレンズ割 ひとり 3,500円

参加申し込み方法

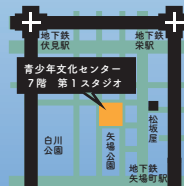
右記QRコードまたは劇場ウェブサイトより
申込フォームにて必要事項を入力してください。



主催・問い合わせ

青少年文化センター「アートピアクリエイティブステージ」係

電話：052-265-2088 メール：yc@bunka758.or.jp



講師 やとみまたはち

劇作家、作曲家、舞台演出家

これまでに約80本の演劇台本を発表し、そのほとんどの演出も自ら手掛ける。劇中歌の作詞・作曲も自身で行い、音楽を生かした演出を得意としている。歴史や事件をテーマにした作品が多く、重いテーマの中に希望を見出すストーリーが高く評価されている。

劇団アルクシアター プロフィール

やとみまたはちが主宰を務め、2008年に旗揚げ。以来、年に2～3本の舞台を上演し続けている。ストレートプレイに歌やダンスを織り交ぜた舞台が特徴で、2019年には、伊勢湾台風をテーマにしたミュージカルを名古屋市、東海市、弥富市、飛鳥村、武豊町で上演し、延べ6,000人の来場者を動員した。最近作は「ユメフリ（2024年）」「ネッコ（2025年6月上演予定）」